



令和4年度間伐活動を終えて

10月27日今年最後の間伐活動を終えました。今年度もコロナのまん延が続きましたが、計画した13回、雨による中止もなく全て実施しました。当初定員38名でスタートしましたが、抽選で外れる方がおり、6回目から大型バス2台で定員48名としました。今年度は参加者571名、間伐数は315本、団体会員の参加は6社15名、体験者は12名でした。

大きな事故もなく作業が終了したこと、インストラクターならびに水道局のご協力に感謝しております。



活動日	天候	参加者 (人)	伐木数 (本)	備考
4月9日(土)	晴	41	24	天候に恵まれ快適な作業が出来た。
4月22日(金)	晴	38	25	天気良好、通常班を5班編成とした。
5月11日(水)	晴	35	21	天候回復し、安全に作業を終えた。
5月21日(土)	曇後雨	36	13	午後の作業中雨となり、作業を中断した。
6月8日(水)	小雨曇	37	21	一時小雨降るも作業は続行。
6月25日(土)	晴	49	27	今回より定員48名となり7班で活動した。
7月9日(土)	晴	43	24	定員に満たず5班編成となった。
7月29日(金)	晴	48	18	晴天下、気持ち良く作業が出来た。
8月27日(土)	晴	47	25	通常班4班、動力班2班で作業した。
9月10日(土)	晴	44	27	途中から天候回復し晴あがった。
9月28日(水)	晴	49	34	転んで眉間付近にケガ、絆創膏で処置した。
10月15日(土)	曇後晴	49	27	体験者7名参加した。
10月27日(木)	晴	55	29	活動最終日、秋晴れで気持ち良く作業できた。

権田坂小学校出前教室 9月16日(金)

出前教室当日は当会より3名で訪問しました。数日前の9月10日(土)の間伐活動に体験参加された山崎先生の担当クラス(6年生)に、会の活動をパワーポイントで紹介しました。事前に操作テストが出来なく立ち上がるまで多少時間がかかってしまいましたが、話し上手のメンバーに得意のトークで時間稼ぎをして頂きました。反省点として事前にPCでテストをすべきでした。従来出前教室はパワーポイントで会の紹介説明をしておりましたが、トークでの説明実施についても検討すべきと感じました。

今回初めて6年生に対する説明でしたが、流石に高学年生は理解力もあり有意義な出前教室になりました。将来この子達の何人かが横浜水源を理解して私たちの会で活動される事を望みます。担当の先生は卒業行事として横浜にゆかりのある、横浜水源の間伐材で、生徒達の卒業記念品を遺させたいとお考えがある様子でしたが、会としては民有林の間伐材の運び出しや製材等は手掛けていないため、間伐材は学校の関係木工業者と相談されるとのことでした。



事業企画部会より(7~10月)の活動報告

水道局による横浜市内各地のイベントに参加し「丸太切り体験・コースター作り」を行いました。

・7/24(日) 夏休み企画 体験しながら「SDGsを学ぼう」

開催場所:港南台バース

・8/3(水) Yokohama Save The Water 2022 未来へ繋げる道志水源林

開催場所:横浜市役所1F 屋外 水辺プラザ

・8/6、7(土、日) 夏休み SDGs フェア 上大岡フェスティバル

開催場所:上大岡京浜百貨店催事場

・8/20(土) 夏休み SDGs フェア SDGsのコトを楽しくしろ

開催場所:LICOPA 鶴見

・10/15、16(土、日) 鉄道創設と近代水道創設記念イベント「横浜モダンヒストリー」を巡るシールラリー

開催場所:JR 桜木町駅周辺(東横線跡地)

5回7日間のイベント来場者数は延べ860名にもなり、丸太切り体験・コースター作りを延べ46名のスタッフで対応しました。猛暑の中で野外の開催会場もありましたが、お子さんの丸太切り体験を撮影したり、ご家族連れにも楽しんで頂きました。コースター作りでは年配の方や外国の方にも挑戦し、切り終えた後ヤスリをかけ、「はまぴょん」スタンプを押して持ち帰られました。

水道局広報課や当会のスタッフの支援協力によりコロナ禍の中、今年6件のイベントを実施出来ました事に感謝申し上げます。ありがとうございました。



寄付をいただきました

令和4年度活動に対し、下記の方より寄付をいただきました。

塚田美千代 様、村田尚子 様、小林信一 様、宮本土木(株) 様
児崎為之 様、中川智康 様、(株)多田設備工業 様 (順不同)
ありがとうございます。有効に活用させていただきます。(会費定額超えを含む)



「水源林間伐体験ツアー」現役大学生対象イベント

9月15日(水)水道局広報課主催、現役大学生を対象とした「水源林間伐体験ツアー」が行われ、当会インストラクター6名と広報担当1名が同行しました。

当日は早朝7:30に桜木町駅前に集合し大学生参加者14名、水道局担当者2名と共にバスで道志村へ出発しました。御殿場→山中湖経由で10:00過ぎに最初の目的地「源流の森」に到着、小川所長による横浜市の水道の歴史や道志村水源林についてのミニ講座を一緒に拝聴しました。その後「道の駅どうし」にて昼食休憩を取り、管理所に移動し作業着に着替え、インストラクター指導のもと3班に分かれて実際の間伐活動を体験してもらいました。作業後は管理所に戻りワークショップにて、一日の体験を通しての感想や今後の水源林維持管理活動についての意見交換をする時間がありました。

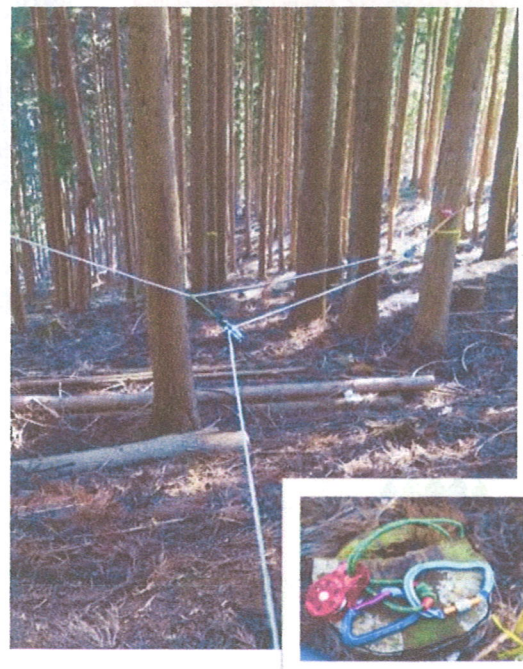
参加者にとっては非常に内容盛りだくさんの一日でしたが、話を聞くだけでなく各々ノコギリを持ち山に入り間伐を体験したことで骨身に感じることも多かったようで、新鮮なアイデアや色々な意見をいただきました。その内容が水道局「大学連携」のホームページに掲載されていますので是非ご覧頂ければと思います。

出発から現地入りまで終始曇天模様で雨が心配されましたが貴重な屋外活動が無事出来て安心しました。



道志の森インストラクター自主研修会

11月19日(土)道志の森インストラクター自主研修を行いました。インストラクター15名と記録担当者1名が参加しました。当日は早朝から天候に恵まれ快晴!7:15関内駅前に集合し、バスで出発。東名→圏央道→青山交差点の通常ルート、途中多少の渋滞があったものの10:00頃管理所に到着しました。二班に分かれ通常活動同様の装備を整え、準備体操後今年度動力班が活動したエリア上方へ入山。まず今回のテーマの一つ「牽引ロープに予備滑車を取り付け、3倍応力を活用して伐倒する方法」を試みました。各班まとめ役を中心として装置の仕掛け方、段取りを一つ一つ確認しながら伐倒作業に取り掛かりました。この目的は、大径木がかかり木になった場合等に多大な労力を使わず伐倒するのに有効か?を試すことです。検証の結果として労力の軽減には有効という実感は概ね得られました。問題点の指摘もあり、導入につ



いては今後検討していくこととなります。

15:00 頃作業を終了、各班下山し帰りの準備をしながら、お世話になった管理所職員の方々と今年最後のご挨拶を交わして 15:30 頃に出発、「道の駅どうし」と海老名 SA の休憩を挟み、圏央道～東名の渋滞を経ながら 19:00 頃横浜駅で全員解散、研修は無事終了となりました。

新型コロナ流行によって当会を取り巻く状況だけでなく、長年活動に参加されている会員の皆さまの日常も大いに变化されたことと思います。会としても従来のやり方に加え新しいチャレンジも試みながら、会員の皆さま、そしてこれから会員となられる方が安全で充実した活動が行える環境を色々検討していければと思います。



《お知らせ》

2月に第15回総会を開催いたします。詳細が決定し次第1月にご案内いたします。

《会員状況 令和4年11月15日現在》

正会員(個人)	正会員(団体)	賛助(個人)	賛助(団体)
239人	13社	25人	1社

令和4年度の活動風景



山に入る



始まりの会



ロープを掛ける



受け口を作る



ロープを引く



枝払いと玉切り



NPO法人 道志水源林ボランティアの会 事務局

〒231-0031 横浜市中区万代町3-5-8 大久保ビル402号室

電話/FAX 045-664-3972

ホームページ <http://www.doshi-suigenrin.jp>

<http://www.doshi-suigenrinjimdo.com>